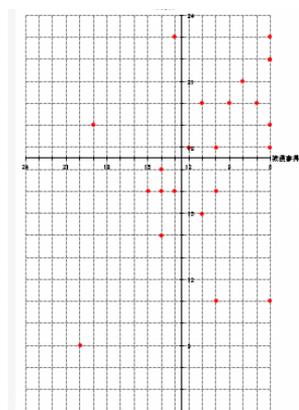


モデルプラン（小学校 - 第6学年での実践）

学級の課題	・一人ひとりの自己肯定感や自己有用感が低く、自信が無い ため、様々な活動に対して消極的である。
長期目標	・自分や友達のよさに気づき、認め合えるようになる。 ・自信をもって発言をしたり、行動したりできるようになる。
短期目標	・行事等で自分の頑張りやできたことにたくさん目を向ける。 ・役割を明確にし、やることに責任をもつ。

学級集団アセスメント



第1回目の分布：斜め型

◇ プログラム実践例

	プログラム名	ねらい	備考
1	みんなでリフレーミング (小一高4)	自分の短所を長所としてとらえられるようになる。 (自己理解)	5月
2	G-MAN グランプリ (小一高1)	自分だけの体験や経験に目を向け自己開示し、友達 と共有することで自己肯定感を高める。(自己肯定 感)	6月
3		9月	
4	イニシアティブゲーム (小一高5)	相手の気持ちや動きを理解して、協力して行うこと の大切さを学ぶことができる。(他者理解)	9月
5	予想外！よそうがい (小一高7)	他者に興味を持ち、意外な面を発見することの楽し さを学ぶことができる。(他者理解)	10月
6	色えんぴつを忘れちゃっ た	自分もっている情報を言葉でメンバーに伝え、伝 えるときに気をつけることを考える。(問題解決)	10月
7	なぞの宝島	情報を伝え合うときに大切なことを考えながら、協 力の大切さを学ぶ。(問題解決)	11月
8	仕事の達人 (小一高9)	自分の意見を持ち、お互いを尊重しながら意見をま とめることの大切さを学ぶ。(問題解決)	1月
9	住宅事情 (小一高10)	自分の持っている情報を、言葉で他者に伝え、話し 合いでの行動や態度、協力することの大切さに気づ くことができるようになる。(問題解決)	2月

クラスの変容

子どもたちからは、「G-MAN やらないの?」という声があがるようになり、友達に賞賛されることはとても嬉しい経験となったようである。普段関わりが薄い子とも積極的に関わられる機会となった。また、帰りの会で友達の頑張りを発表できる子も増えた。

プログラム等アレンジ例 「G-MAN グランプリ」(小一高1)

〈アレンジのポイント〉

- ・子どもたちが話しやすい内容になるようにする。
- ・グループに入れない子がいないようにする。
- ・できるだけたくさん交流できるようにする。

学級活動指導案

ねらい 自分だけの体験や経験に目を向け自己開示し、友達と共有することで自己肯定感を高める。

活動内容		指導上の留意点	資料
5分	①「G-MAN」グランプリの目的とやり方を知り、活動を始める。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 子どもたちが考えやすく、話が盛り上がりそうな内容にした。 </div>	・ワークシート
5分	②夏休みの思い出の中で話したいことを3つ以内にしぼる。		
25分	③指定された席に座り、グループになる。	発表の仕方 「私は夏休みに家族で海に行って、たくさん泳ぎました！」 【ジェスチャーを入れる。(グッドサインなど)】 聴く人の反応の仕方 「すごいね！」 「そうなんだ！」 「いいね！」 【拍手やグッドサインなどジェスチャーをする】	
	④夏休みの思い出を「G-MAN」として発表する。	・賞賛するときのジェスチャーは、その話を容認した場合であり、大切なものであることを指導する。 ・全員が終わっているか、全体の状況を確認する。	
	⑤聴き終わったら、感想を伝えたり、質問をしたりする。		
	⑥グループを替える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 仲がよい子だけになったり、グループに入れなかったりする子がいないようにくじで座席を決める。 たくさん話ができるように時間で区切り、何度も席替えをする。 </div>	
5分	⑦今日の授業について振り返り用紙に記入する。	・今日のSSTで気が付いたことや今の気持ちについてフィードバックさせる。	・振り返り用紙
5分	⑧全体でシェアする。		

引用文献

「平成26年度ソーシャルスキルトレーニングプログラム集【小学校編】P45 綾瀬市教育研究所」

第2回 G-MAN グランプリ 名前 ()

☆今日のめあて

めあてをワークシートにも記入することで、常に意識できるようにした。

- ・自分のことを友達に知ってもらおう。
- ・友達のことをよく知ろう。

☆夏休みを振り返って、楽しかったこと、うれしかったこと、がんばったことを書こう。

•

•

•

☆振り返りをしよう。

(1) 自分は、この活動のルールを守ることができた。

よくできた できた あまりできなかった できなかった

(2) 自分のG-MANを恥ずかしくせずに言うことができた。

よくできた できた あまりできなかった できなかった

(3) 友達のG-MANをきちんと聴くことができた。

よくできた できた あまりできなかった できなかった

(4) 友達のG-MANに対して「すごいな！」など本当に思うことができた。

よくできた できた あまりできなかった できなかった

(5) 今日の授業で気づいたこと、考えたこと
